

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月30日

計画の名称	打上高塚地区における駅につながる道路整備とにぎわいのある 沿道まちづくり（市街地整備）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	寝屋川市												
計画の目標	本地区は、都市計画道路寝屋川公園駅前線（以下「寝屋川公園駅前線」という。）沿道に位置しているが、その大半が未整備となっている。そこで、本事業において東寝屋川公園駅前線を整備するとともに、沿道地域における土地の高度利用と健全な市街地の形成を図り、本市東部地域の玄関口としてふさわしい商業・業務系土地利用を誘導することを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	184	A	184	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）												
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値											
		当初現況値	中間目標値			最終目標値							
		H29当初				H31末							
1	幹線道路から主要駅までのアクセス時間を短縮し、「生活環境の満足度」及び「交通環境の満足度」を高める。												
	JR寝屋川公園駅から第二京阪道路までのアクセス時間の短縮率【実地走行調査による都市計画道路寝屋川公園駅前線整備前後の走行時間の短縮率】 従前アクセス時間＝4.4分⇒従後アクセス時間1.2分（アクセス時間の短縮率）＝（短縮される走行時間）÷（整備前の走行時間）×100%	0%	%			73%							
2	寝屋川公園駅前線を活かした大規模施設を誘致し、活気と活力に満ちた都市の創出を図る。												
	企業誘致による地区内就労人口の増進率【現在の就労数と開き後の就労数の増加率】	0名	名			290名							
備考等		個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	寝屋川市	間接	寝屋川市打上高塚町土地 地区画整理組合	市町村 道	改築	寝屋川市打上高塚町土地 区画整理事業（都市計画 道路寝屋川公園駅前線）	都市計画道路寝屋川公園駅前 線 L=287m W=16m	寝屋川市	■	■	■			184		—
											小計						184		
											合計						184		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
寝屋川市において評価を実施	令和4年8月
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	○土地区画整理事業による都市計画道路の整備によりJR寝屋川公園駅から第二京阪道路までのアクセスが向上した。この結果、道路沿いにマンション、スーパーマーケット、病院等が建設・開業したことによる就労人口が増加し、今後も引き続き雇用の場が増加すると予想される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	○事業個所外にもマンション・戸建ての建設が行われており、寝屋川公園駅周辺の人口増加が予想される。 ○民間企業も寝屋川公園駅周辺に注目しており、より開発が活発になると考えられる。

○特記事項（今後の方針等）

○引き続き、JR寝屋川公園駅周辺の整備を進め、令和5年開校予定の小中一貫校の開校等、寝屋川公園駅周辺のまちづくりを促進する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	73%	
	最 終 実績値	73%	
2			
	最 終 目標値	290名	
	最 終 実績値	100%	